北陸

都道府県ランキング

地方のデジタル化編 オンライン教育

富山9割超、地域差大きく

オンライン教育の導入が広がったのは新型コロナウイルス流行下で臨時休校が相次いだためだ。内閣府の調査分析報告「地域の経済2022」によると、2022年1～2月には公立小中学校の7割が臨時休校時にオンラインで授業を実施した。学びを止めないための教育行政の努力は着実に実を結んでいるが、都道府県別にみると大きな地域差も残している。

2022年1月11日から2月16日に連続5営業日以上休業した全国の小中学校の71・2%が同時双方向型のウェブ会議システムで授業をした。文部科学省の資料によると高校や特別支援学校などを加えた学校全体では69・6%になり、コロナ禍初期の20年4月（設置者数ベースで4・9%）より大きく広がった。

都道府県別にみると、学校数ベースで実施率が最も高いのは茨城県で99・7%に上る。大分県（92・6%）や富山県（91・3%）も9割を超えている。当時の新規感染者数が人口比で多い都道府県ほどオンライン教育の実施率は高い傾向にある。

教育政策に詳しい三菱UFJリサーチ&コンサルティングの鈴庄美苗副主任研究員は「臨時休業中も学習の機会を守らなければならないという必要に迫られて導入が加速した」と指摘する。

茨城県は20年4月、動画サイト「ユーチューブ」に小中学生を対象にした授業動画チャンネル「いばらきオンラインスタディ」を公開し、全小中学校に活用を呼びかけた。

感染が広がるなかで市町村と学びを止めてはならないという危機感を共有できたため「スムーズに協力を得ることができた」（義務教育課）。「教員一人ひとりのICT（情報通信技術）活用のスキルが向上し、現在はどう教育のイノベーションにつなげるかという次のステージに入った」

大分県も21年9月にビデオ会議システムの操作方法や授業展開例を市町村に通知した。県職員が教職員向け研修で全小中学校を回り、活用を促した。コロナ禍による臨時休校は直近でなくなったが、生徒の間で日常的にタブレット型パソコンを持ち帰る習慣が広がった。

台風による休校時などにオンラインで授業を開く学校もあり、「コロナ禍のあいだに推進してきたことが根付いていると感じる」（県教育センター）。

一方で地域差は大きな課題だ。オンライン教育の実施率が最も低い岩手県は5・9%にとどまる。最も高い茨城県と17倍の差がある。岩手県は「他県に比べるとコロナ下の臨時休校がそれほど長く続かなかったため、オンラインでの授業をあまり実施してこなかった」（教育企画室）と説明する。

臨時休校時のオンライン教育

順位	都道府県	割合	全国との差
1	茨城県	99.7%	28.5ポイント
2	大分県	92.6	21.4
3	富山県	91.3	20.1
4	福岡県	90.4	19.2
5	兵庫県	89.8	18.6
6	岐阜県	89.6	18.4
7	埼玉県	88.1	16.9
8	石川県	87.5	16.3
9	東京都	87.2	16.0
10	沖縄県	83.0	11.8
11	千葉県	82.7	11.5
12	北海道	77.7	6.5
13	長野県	72.4	1.2
全国平均		71.2	
14	奈良県	69.4	▲1.8
15	熊本県	67.9	▲3.3
16	静岡県 広島県	66.7	▲4.5
18	滋賀県	65.3	▲5.9
19	三重県	64.7	▲6.5
20	大阪府	63.3	▲7.9
21	群馬県 鳥取県	62.5	▲8.7
23	京都府	61.6	▲9.6
24	愛知県	61.4	▲9.8
25	山形県	61.1	▲10.1
26	愛媛県	60.0	▲11.2
27	神奈川県	55.7	▲15.5
28	新潟県	55.0	▲16.2
29	徳島県	53.8	▲17.4
30	山口県	52.9	▲18.3
31	山梨県	50.0	▲21.2
32	福井県	44.4	▲26.8
33	栃木県	41.7	▲29.5
34	福島県	40.4	▲30.8
35	青森県	39.6	▲31.6
36	岡山県 香川県	38.5	▲32.7
38	宮城県	37.5	▲33.7
39	長崎県	33.3	▲37.9
40	和歌山県 佐賀県	31.3	▲39.9
42	島根県	23.3	▲47.9
43	秋田県	22.6	▲48.6
44	高知県	20.0	▲51.2
45	鹿児島県	17.1	▲54.1
46	宮崎県	8.3	▲62.9
47	岩手県	5.9	▲65.3

(注)▲はマイナス。実施学校数の割合
(出所)内閣府「地域の経済2022」

ふくいサーモンの今春の水揚げ量は前年比1割増の170トンを予定。来春には400トンに増やす

金沢大では能登半島の井戸水と海水を使い、無投薬で育てている（石川県能登町）

県では三菱商事など大手企業も参入する。

17日、鮮やかな色と鮮度の良さが特長の「ふくいサーモン」の水揚げが本格化する。4月中旬～5月に前年比1割多い1

独自のエ

▲福井

無投薬、

の吉田祐記部長）と着手した。毎年技術を進化させている。独自のエサで脂乗り良く育て、水中カメラを使った自動給餌機で効率や海の環境にも配慮している。魚の目利きのプロ集団だけに鮮度管

揚げ量を2倍超の400トンにする計画だ。

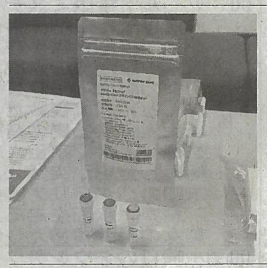
金沢大学の付属病院で6日、能登半島で研究者らが独自技術で育てたサーモンが入院患者に提供された。オーガニックサーモン「のとらうと」で、塩焼きや竜田揚げなどに調理した。一般的に、魚を養殖する際には病気を防ぐために薬を与えるが、能登半島の井戸水と紫外線殺菌した海水を使い無投薬で育てた。

病院の徳丸季聡栄養管理室長は「栄養やうま味が豊富で濃い味付けをしなくてもおいしくなる」と話す。研究施設での養

短時間検査 キット発売

PCR 手作業工程減らす

ニッポンジーン



富山市に本社機能を置く診断薬のニッポンジーン（東京・千代田）は、新型コロナウイルスのPCR検査で、短時間で検査ができるキット＝写真＝の販売を12日から始めると発表した。約100検体の検査で45分程度短縮でき、効率も約2～3倍向上するという。

このキットは、唾液に含まれるウイルスから遺伝子情報のRNAを取り出すためにセ氏95度まで加熱する工程と、そのRNAをPCRの検査薬に適合したDNAに変える「逆転写酵素」を入れる作業を連続して実施できる。

「逆転写酵素」は本来は熱に弱く熱処理前には入れられず、別容器に移すなどの手作業が必要だった。同社は熱処理に耐えられる同酵素を開発し、手作業の工程を減らした。

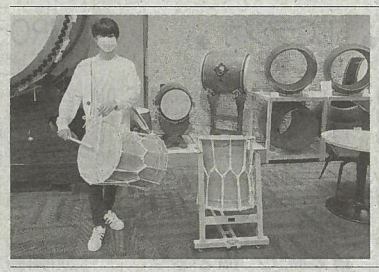
米田祐康会長は「手作業が減り、検体の入れ間違いや、検体を取り出すチューブなどの消耗品の使用も減らせる」と話した。

マルハニチロが2月、「ら」などの声があった。なのに対し、サーモンは（佐々木たくみ）

浅野太鼓楽器店

能登ヒバ材使い桶太鼓

音の立ち上がりよく



和太鼓製造大手の浅野太鼓楽器店（石川県白山市）は木材卸のフルタニランバー（金沢市）と協力し、能登ヒバ材を使った桶太鼓＝写真＝を商品化した。スギ材を使う従来の製品に比べ、音の立ち上がりがいいという。全国の太鼓演奏団体を中心に販路を開拓する。

桶のように板を貼り合わせてつくるのが桶太鼓だ。能登ヒバは堅いため、胴を薄く加工してあり、振動が伝わりやすい。浅野太鼓楽器店は「ただいた時に、すぐに音が聴こえる。アンサンブルなどにも使いやすい」と話す。

ねじれにくいまさ目材を活用した。木目が美しく、板の境目がほとんど分からない。人が抱えて演奏する「かつぎ桶」、台に据え置いて演奏する桶太鼓を用意した。受注生産で対応し、口径42センチの場合、価格はいずれも17万3800円。

浅野太鼓楽器店は、フルタニランバーが進める能登ヒバ材を使った楽器づくりプロジェクトに参加した。太鼓の材料の一部は輸入材を使っていたが、輸入木材が不足する「ウッドショック」もあり、石川県の能登ヒバを活用する利点は大きいという。

おかげさまで 130周年
At Your Side ISHI-GROW THE 1496 CORPORATION SINCE 1893
北陸・関東 石黒建設株式会社 中京・関西

配達・購読のお問い合わせ
0120-21-4946
7時～21時
金沢 076-232-3311
富山 076-432-4463
福井 0776-22-3490

各地のニュースは日経電子版で

電子版トップ ▶▶▶ 地域

- 信越 マルヤス機械、タイに再進出
- 神奈川 横浜中華街にサウナ、料理店と連携
- 静岡 鋳物製造の栗田産業、BtoC展開
- 中部 西濃運輸、地域連携で24年問題に対応
- 四国 道後温泉本館、24年7月全館再開
- 九州 長崎でも半導体産業の集積加速

サステナ商品・体験、売り場開業

阪急阪神百貨店は12日、阪急うめだ本店（大阪市）でサステナブル（持続可能）に関連する商品や体験を提供する新たな売り場「GREEN AGE（グリーンエイジ）」＝写真＝を開業する。環境負荷が少ない建材やしっくいを使った床などを売り場に採用。消費者の環境意識の高まりに対応し新規の顧客獲得につなげる。

グリーンエイジは同本店の8階に設置する。売り場面積は約2300平方メートルで、「人と自然の共生」をコンセプトにアパレルや雑貨、高級ブランドなど約40店舗が入る。アウトドア商品のレンタルのほか、不用品の下取りやリユース商品の販売など循環型社会につながるサービスも展開する。

売り場作りでも地球環境に配慮した。商品陳列用の什器（じゅうき）は部品を組み替えることで様々な用途に活用できるようにした。

関電「宮津火力」、来月末に廃止

関西電力は11日、宮津エネルギー研究所（京都府宮津市）の火力発電設備2基（合計出力75万キロワット）を5月31日に廃止すると発表した。エネルギーを学べるスペースと水族館を組み合わせたPR施設「丹後魚っ知館」（同）も5月30日に閉館する。今後発電所の建屋などを撤去し、2028年度をめどに企業誘致エリアとして再開発する。

宮津エネルギー研究所は1989年に営業運転を始めた。中長期的な需給状況などを踏まえ、1号機は02年、2号機は04年に長期計画停止して以降は稼働していなかった。

日経DVD 利用者の満足と介護職員のモチベーションを高める動画コンテンツ!
こころをつかむ［全3巻］
介護職員研修シリーズ

記事を
記念に